

中央情報経理専門学校に
新たな仲間が加わりました。
入学して3ヶ月、今の思い
と夢について聞きました。

情報経理学科1年
関 碧衣さん
(利根商業高校出身)



就職見据え準備したい

入学して約3ヶ月たちましたが、毎日楽しく過ごしています。入学してからの感想は、勉強は大変ですが、自由に使える時間も多く取れると思いました。曜日によって午前中で授業が終わる日もあるので、友達との付き合いの時間も取れます。

授業では、情報経理学科の特徴とし

保育福祉学科1年
小澤 美玖さん
(松井田高校出身)



子どもに関わる仕事に

私の入学当初の目標は、クラスメートと仲良く元気に、毎日過ごすことでした。

最初は少人数制ということで不安に思うこともありましたが、クラス全員が仲良く、毎日が楽しいです。そして専門職に就くために率先してあいさつをし、言葉遣いに気を付けたり進んで清掃をするなど社会人としての自覚を意識して過ごしています。

交流を目的に開催された情報経理学科と観光ビジネス学科の「バーベキューの集い」



1、2年生交流兼ね バーベキューの集い

情報経理学科1、2年生と観光ビジネス学科2年生による交流目的の「バーベキューの集い」が、4月20日に高崎観音山ファミリーパークで行われました。

1年生は入学間もないこともあり緊張気味でしたが、準備作業から調理、

資 格 檢 定 就 職

夢に向かって

新 入 生 インタビュ－

て、さまざまな資格取得ができるので、就職に向けて全ての検定に合格できるよう頑張っています。先日、日商簿記検定3級に合格することができました。

授業以外にも、友達と話したり、昼休みにセントラルパークで食事することも楽しみで、毎日充実した日々を送っています。

私の将来の夢は、事務職に就くことです。社員の方々のサポートをする仕事だと思うので、頼りにされる事務職員になれるよう、今から多くのことに挑戦していきたいと考えています。

保育士資格、幼稚園教諭免許を取るために、レポート作成や、科目試験を受験するなど大変なこともあります。ただ、私はまだではあります。仲間と一緒に頑張ります。そして卒業する時には子どもと関わる仕事をすることが私の夢です。

高度会計学科1年
松江 龍一さん
(桐生商業高校出身)



日商簿記1級合格を

入学以前から厳しい道だということは理解していましたが、同じ目標を目指す良きライバルたちが何人いるか

不安な部分がありながら授業がスタートしました。実際に始まるとハードな毎日ですが、その分日々充実した時間を過ごしています。毎日の積み重ねが非常に重要であると実感し、自身の目標である日商簿記1級合格に向けて、今まで以上に気を引き締めて勉強に取り組んでいます。

私は、クラスメートと一緒に成長しながら難しい資格に挑戦しつつ、社会人としてのマナーを学んでいきたいと思っています。最後に、夢は税理士になって安定した収入を得ることと、スキルアップを図り社会から必要とされる人材に成長し、家族も養っていくよう頑張っていきます。

情報経理学科1年
島袋れんそさん
(伊勢崎工業高校出身)



実力付けて希望企業に

授業がスタートして、3ヶ月経過しました。最初、先生に対し厳しいというイメージがありました。実際に接してみると先生と学生の距離が近く親身になって対応してくれることが分かりました。また、やる時と楽しむ時のメリハリが明確なので、自分もいろいろなことに集中して取り組むことができます。

在校生の声

進級や専攻科に進んだ在校生に、学習面や今後の目標についてインタビューしました。

医療福祉秘書学科・
医療福祉秘書コース2年
神宮 未希さん
(伊勢崎清明高校出身)



全ての検定に合格を

基礎医学の授業が本格的に始まり、身体の構造や仕組みについて学んでいます。覚えることが多く大変ですが、友達や先生に聞いて、勉強に励んでいます。今後の目標は、全ての検定に合格することです。将来は病院に就職したいと考えているので、再来年の、診療情報管理士の検定合格に向け、努力していきたいです。

医療福祉秘書学科・
診療情報管理士専攻
遼塚 美穂さん
(足利工業高校出身)



診療情報管理士に

本校に入学して3年目になりました。これまで医療事務の勉強や資格取得に力を入れてきました。その集大成として来年の2月に診療情報管理士認定試験に挑戦します。また、その試験内容が今年から変更され、より深い医学知識が必要となったので、日々の勉学により一層力を入れ、昨年度同様、合格率100%を目指したいです。



介護事務管理士に合格した学生たち

「介護事務管理士」 100%合格 (全国62%)

診療情報管理士専攻

介護事務管理士（技能認定振興協会主催、3月24日実施）の結果が発表され、診療情報管理士専攻学生19人全員が合格しました。全国合格率は62.6%でした。

今回の発表により、学生たちは医療事務管理士（医科・歯科）・調剤事務

管理士と合わせて4つ目の管理士取得となりました。

診療情報管理士専攻は、本校医療福祉秘書学科で2年間学び、その後1年間かけて診療情報管理士試験合格のため専門学習を受けるコースです。

全経簿記「上級」に和田さんが合格

全国経理教育協会主催の簿記能力検定上級試験（2月18日実施）の結果が4月17日に発表され、高度会計学科経理専攻（税理士）コース1年生（現2年）の和田拓実さん（足利清風高校出身）が合格しました。

合格者には、税理士科目試験の受験資格が付与されます。和田さんは8月に行われる同試験に向け学習を進めています。



新たな2検定に挑戦

健康スポーツ学科

健康スポーツ学科は、本年度から新たに2種類の資格取得を目指し、学習に入りました。

スポーツインストラクターコースが取得を目指すのがAFAA RT（レジスタンストレーニング）検定です。この検定は、運動処方・障害予防などトレーニングノウハウの確認はもちろん、さまざまな環境や状況にあわせたトレーニングメニューの作成方法などを確認することができます。さらにパーソナルフィットネストレーナーへの大きなステップとなります。



資格取得を目指し学ぶ学生たち

ボディコンディショニングインストラクターコースが取得を目指すのが、Body workセラピスト検定です。この検定は、日頃の生活スタイルや姿勢、ストレスによって身体の不調や精神的疲労を感じる人に対し、手技を用いて身体の状態を整える人材を目指します。

4月から各コースともに授業が始まり、全員合格を目指し頑張っています。

総合旅行業務取扱管理者や前橋市との連携事業に挑む

観光ビジネス学科

観光ビジネス学科は、前期のクラス目標に就職の早期内定と、「総合旅行業務取扱管理者」全員合格を掲げました。合算率が10%前後の難易度が高い資格ですが、仲間と協力し、10月の試験に挑みます。

△ソースかつ丼PR

昨年から観光ビジネス学科が、前橋のご当地グルメとしてソースかつ丼を広めることを目的に取り組んでいる連



携プロジェクト=写真=もステップアップします。今年はより身近に案内ができる“アプリ開発”を計画、情報システム学科・情報経理学科の学生とともに取り組んでいます。

スリランカと日本つなぎたい



夢を語る兄弟

～双子の留学生～

クシヤンさん、カルパさん 国際ビジネス学科

国際ビジネス学科にスリランカから双子が入学しました。インド南東に位置する同国から約6500キロの距離を超えて日本にやってきた双子のクシヤンさん（兄）とカルパさん（弟）です。

先生や友達も見分けるのが大変なほどそっくりな兄弟は、いつも一緒です。小学校、中学校、高校、留学先も同じで、就職先も一緒が良いとのことです。アルバイトでは、働く時間も同じで、いつも二人でいることが好きだと言います。

共通点の多い兄弟ですが、唯一異なることは食べ物の好き嫌いです。カルパは豚肉を食べられますが、クシヤンは食べられないそうです。

1995年6月27日生まれの23歳。若い二人ですが、実は結婚しています。カルパさんは一昨年7月、クシヤンさんは昨年8月に結婚しました。

兄弟は高校卒業後、スリランカの印刷会社で2年間働きました。しかし、日本に留学した知人の話や、スリランカよりも労働環境が整っていること、あらゆる面で日本の方が便利だという点から日本への留学を決心しました。将来は、日本での経験を生かして、父の漁業を拡大し「スリランカと日本をつなぐ貿易の仕事」をしたいと語りました。

そんな双子の兄弟の夢に向かって、国際ビジネス学科は全力サポートしていきます。

「はだかのおうさま」上演

ぐんまこどもの国で保育3年生

保育福祉学科は表現活動の一環として、太田市にある「ぐんまこどもの国」で創作劇を上演しています。今年は、4月21日に行われ、演目は「はだかのおうさま」でした。

会場は大勢の家族連れや子どもたちであふれ、演じた新3年生は、いつも以上の力を發揮し、観客と一緒に舞台を演じることができました。

新3年生は、冬から春休みにかけて、台本、大道具、小道具作り、セリフ練習などの準備を進め、限られた時間の中で全員が協力することはもちろん、貴重な経験を積みました。



観客と一緒に舞台を演じた学生たち

今何をすべきか考え、当日を迎えました。

1年生2年生は、照明、音響、来場の呼び込み、会場の盛り上げなど裏方となって協力。各学年それぞれの立場で、貴重な経験を積みました。

歩行ラリー 桃キャンパス ペア向上賞1位

鈴木 彩花さん（情報経理学科）

石田 航平さん（情報経理学科）

協力と情報共有の大切さ学ぶ

1日目はルールが良く分からず迷いそうになりましたが、目標物を探し進んでいました。正直疲れたことしか記憶に残っていません。ゴールした後、クラスで失敗点や成功点とコマ図のルールを理解し、2日目に臨みました。1日目とは違い2人で協力し、目標物を見つけることができたので、迷子にならずスムーズに進むことができました。歩行ラリー



を通して協力することの大切さ、情報共有して物事を進めることの重要性を学びました。

CIA 中央情報経理専門学校 国際動物看護学科

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-4 TEL.027-253-5544(代) FAX.027-254-0605

夢に向かって

国際動物看護学科1年
永見 玲奈さん
 (前橋商業高校出身)

資格もたくさん取りたい

▽将来目指している職業

私は将来動物看護師になりたいと思っています。以前、飼っていた愛犬が原因不明で亡くなり、とても悲しかったので、たくさん勉強をして動物たちの力になれるような動物看護師を目指します。

▽今、力を入れていること

学級委員長として、私はクラスメート全員と仲良くなれるように積極的に話しかけるようにしています。勉強は初めて学ぶ内容ばかりで、授業だけです。

本年度から新たなファミリー動物が加わりました。

まずは、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエルの「はなちゃん」=写真、1月20日生まれの女の子です。この犬の原産国は、イギリスです。17世紀のイギリス国王チャールズ2世も寵愛していた長くて大きな耳がチャームポイントです。性格はとても活発で、明るく元気です。

今まで、トイ・プードルの「さくらちゃん」を追いかけていた先輩犬の

新生
インタビュー

理解するのは難しく、復習を毎日2～3時間やるように心がけています。

▽どんな2年間にしたいか

目標が動物看護師になることなので、しっかり仕事としてできるように知識と技術を身に着けたいです。また、検定も学校で受けるものだけでなく、必要そうな資格は積極的に取得していきたいと思っています。



本年度も、学園に動物と関わる仕事に就くことを夢見る仲間が入学してきました。その中から、学級委員を務める永見玲奈さんと茨城県から毎日電車で通っている増山美咲さんにインタビューしました。

でも、動物たちのちょっとした変化に気付けて、健康管理をしっかりできるような人になりたいと思っています。動物と飼い主さんが幸せに暮らせるような、お手伝いがしたいです。

▽今、力を入れていること

飼育当番や普段の授業の中で、分からることはそのまましないで、先生に質問したり、自分で調べるようにしています。頭の中を整理するためにも、授業ノートを再度書き直したりもしています。

▽どんな2年間にしたいか

どの分野に就職しても大丈夫なよう、ボランティア活動を積極的にやりたいです。そこで、いろいろな方とふれあいコミュニケーション能力を高められればと思っています。

国際動物看護学科1年

増山 美咲さん
 (茨城・岩瀬高校出身)

ボランティアも積極的に

▽将来目指している職業

私はまだ迷っている最中です。それ

ント講座」参
照)。3月20日
生まれで、手



差し出すと、自ら指の上に乗ってきてくれます。目の下あたりをなでると気持ちよさそうに首をかしげます。その様子に学生たちも「鳥の見方が変わった」と好評です。

ペットショップの小動物の中でも鳥の扱いは、経験しないとなかなか難しく、愛玩動物飼養管理士という資格取得の際にも鳥に関する問題があります。また、鳥を一度も触ったことがない学生も多いため、今回初めてファミリー・バードを仲間に加えてみました。

前橋ツナガリズム祭り 学生たちが ボランティア ペットのボディケア指導

前橋市の商店街で「前橋ツナガリズム祭り」が4月15日に行われ、ボランティアとして1年生と2年生が合わせて14人参加、ペット犬のボディケアなどを指導しました。

この催しは、前橋中心市街地活性化を目的にしており、各所でクラフト体験やフリーマーケット、ライブパフォーマンスなどが行われました。

本校(中央動物看護専門学校・中央情報経理専門学校国際動物看護学科)の学生たちは「～ペットと共にワンダフルな一日を～」の企画の1つとしてワンちゃんのボディケアを担当。来場したペットの飼い主に爪切りや、耳掃



犬の耳掃除を指導する学生

除のやり方などを指導しました。担当した学生たちは、それぞれの家庭でも実践してもらえるよう丁寧に教えていました。

なかには、デンタルケアについて質問する人もいましたが、2年生は普段から学校でファミリー犬のデンタルケアを行っているため、迷うことなく、対応していました。1年生は入学して間もありませんでしたが、事前の準備段階から手伝うなど積極的に取り組んでいました。

このボランティア体験が、今後の学校生活に役立つことを期待しています。

CAN わんポイント講座 セキセイインコの魅力

今回は、新しくファミリーに加わったセキセイインコについて、その魅力をお伝えしたいと思います。

小型のインコの中でも特に手乗りにしやすく飼いやすいのが、セキセイインコです。オーストラリア原産



…」と昔話をするインコまでいるくらいです。

ところで、皆さんはオウムとインコの違いをご存知ですか?「オウム」は、「インコ」より大きく体長30～60cmで冠羽と呼ばれる飾り羽が頭にあるのが特徴です。

ぜひ、可愛い鳥「葵ちゃん」に会いに来てくださいね!

飼いやすく、おしゃべりが得意

で、カラーのバリエーションがとても豊富です。

おしゃべりも得意な種類で、やさしくそして根気よく練習すれば、名前前に反応して返事をしたり、口笛や歌まねをします。中には「むか～し、むかし、おじいさんとおばあさんが

学校法人 有坂中央学園

CIT 中央工科デザイン専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-48-1 TEL.027-255-3544(代) FAX.027-253-1124

www.chuo.ac.jp

CHUO
中央カレッジグループ

東京ビッグサイトでアジア最大級のアートイベント 「デザインフェスタ」に出展

「空想ブランド」店で 作品の展示と販売

本校デジタルデザイン学科とCG学科の2年生が5月12日、東京ビッグサイトで行われたアジア最大級のアートイベント「デザインフェスタ」に出展、多くの来場者を前に作品を展示しました。加えて、オリジナルブランドとして商品タグを含めて総合デザインを行った「空想ブランド」店では学生制

作のTシャツ、トートバッグ、缶バッジ、アクセサリなどを販売。3DCGアニメーション上映やゲームなども幅広くブース展開しました。

ブース運営で参加した学生は「自分がデザインしたものを展示し、気に入ったものを購入してもらう、そんな貴重な体験ができたことがとてもうれ



本校学生たちのブースは「空想ブランド」店

しい」と笑顔で話していました。

学生たちは今後、9月の学園祭「か

わせみ祭」に向けて作品制作を進めていきます。

シリコンバレー研修に参加して

第2回ぐんまプログラミングアワードでMVPを受賞した半澤七海さんが、副賞のアメリカシリコンバレー研修（4月25日～30日、4泊6日）に参加してきました。研修の感想を紹介します。

半澤 七海さん

=ぐんまプログラミング
アワードMVP
(デジタルデザイン学科DTPデザインコース2年、前橋商業高校出身)

世界を実感した6日間



シリコンバレー研修に参加し、訪問先で熱心にメモを取る半澤さん
(上毛新聞社提供)

研修では、スタンフォード大学、Apple新本社、配車サービス大手のUber本社を訪問し、各社の取り組みなどを紹介していただきました。

Apple新本社では美しい外観はもとより、Apple製品の展示スペースが印象的でした。ガラス張りの開放的な空間、見て触るのに最適な高さや角度、ズラリと並ぶ新製品。普段使っているiPhoneが非常に高級なものに見え、秀逸な空間デザインを肌で感じることができました。

初めての海外は、見える景色が全て洗練されており、先進的で想像を

超える世界を知ることができた研修でした。世界の広さを痛感できたあっという間の6日間で、この研修で得た経験を糧(かて)にいろいろなことにチャレンジを続けたいです。

校内点検を授業で 電気工事経験積む

テクニカルエンジニア学科

本校テクニカルエンジニア学科の講師で選任電気主任技術者でもある福島峻太先生が学生を指導し、校内電気設備の点検を、電気工事実践授業として行いました=写真。

この授業では、設備点検の結果、教室の電気コンセントのプレートが一部破損している箇所を発見。通常では電気工事業者に修理依頼するところですが、電気工事の経験を積める機会と考え、第二種電気工事士の資格を持つテクニカルエンジニア学科の学生が修理に挑戦しました。

作業は2口(ふたくち)コンセントの



交換で、電気工事士の資格も持つ福島先生の指導のもと、安全確認し作業を行いました。交換を終えた学生たちは「他にも修理が必要な箇所があればチャレンジしたい」という声も出ていました。

今後は修理だけでなく教室照明のLED化なども検討したいと思います。

「工事担任者DD第1種」 2年生の4人合格

国家資格である工事担任者DD第1種試験（5月27日実施）に、本校のテクニカルエンジニア学科2年生の4人が見事合格しました。

工事担任者は主にインターネットや電話回線といった通信工事を行うために必要な資格で、DD第1種はデジタル通信に関する工事全てを施工できる最上位資格です。本校では、5年連続での合格者輩出となりました。

DD第1種に合格した
学生たち

【工事担任者DD第1種合格者】

(カッコ内は出身高校)
飯野 敬騎（テクニカルエンジニア学科2年・電気工事士（2年制）コース、館林商工高校）
大澤 洋貴（同、前橋工業高校）
小林 俊紀（同、伊勢崎工業高校）
小林 直貴（同、明和県央高校）



よう進めています。5月7日には1回目の打ち合わせと商品の製造工程を見学、社内設備機器の特長や家具制作に使用する素材の特性を細かく教えていただきました。今後は各学生がアドバイスを参考にデザインを検討、最終的にはコンペ形式で1点を商品化するところまで行います。

木製家具デザインで プラス(株)と連携授業

プロダクトデザイン学科

本校プロダクトデザイン学科は、前橋に工場を持つ事務機器メーカー、プラス株式会社と連携、「幼稚園・学校で役立つ木製家具をデザイン・設計する」という授業を行っています。

3年目となる本年度は、同社との打ち合わせ回数を増やし、学生たちにさまざまなアドバイスをしていただける

中央医療歯科専門学校（太田校・高崎校）に、本年度も新たな仲間が入学してきました。経験や出身地は異なるものの歯科衛生士への道は共通しています。新入生に将来の夢や学校生活について聞きました。

江田 千尋さん
 (社会人入学・歯科助手経験者)

親や子に歯科への安心感を与える

▽歯科衛生士を目指したきっかけ
 歯科助手として働いていた時に、院長先生に歯科衛生士の養成学校への進学を勧められたのがきっかけでした。歯科助手は患者さんの口腔内に触れることはできないので、歯科衛生士になり業務の幅を広げ、患者さんの健康に深く関わりたいと思ったからです。

▽学校・クラスの雰囲気

元気が良くて、明るいクラスだと思います。年齢も18歳の学生が多く女子高校のような雰囲気です。

▽CISでの授業について

基礎的な内容から専門的な内容までさまざまな授業がありますが、分からぬところは先生が丁寧に教えてくれるので理解しやすいです。



太田校 新入生インタビュー

▽アルバイトはしていますか

歯科医院で歯科助手のアルバイトをしています。主に受付業務やアシスタント業務を行っています。器具の名前や技術を学ぶことができるので、今後の実習で役立つと思います。

▽将来どんな歯科衛生士になりたいですか

小児歯科で働いていたので、子どもの患者さんを多く見てきました。子どもは歯科医院が苦手だと思うので、治療前や治療の最中に安心感を与え、虫歯のない歯にするために親子に対しても指導ができる歯科衛生士になりたいです。

荒川のぞみさん

(太田フレックス高校出身)

親しまれる“町の歯科衛生士”に

▽歯科衛生士を目指したきっかけ

元々医療に関わりたかったことと、幼い頃歯科医院に通っていたこともあり歯科衛生士という職業に興味を持ちました。本校のオープンキャンパスで歯科衛生士について詳しく知り、目指したいと思いました。

▽学校・クラスの雰囲気

先生、先輩方は親身になってくれ、クラスも仲良く居心地がとても良い学校です。

おかげで毎日楽しく通えています。

▽CISでの授業について

歯科衛生士の三大業務の科目はとて



も分かりやすく面白い。専門的な授業は難しいですが、復習して分からぬ点は先生に聞けば丁寧に教えてくれるので大丈夫です。

▽アルバイトはしていますか

歯科医院でしています。内容は器具の洗浄やユニットの掃除、待合室の掃除などです。治療の見学や器具について説明もしてもらえるのでとても勉強になります。

医院内の歯科衛生士の皆さんや先生方が優しく、楽しく働いています。

▽将来どんな歯科衛生士になりたいですか

アルバイト先の歯科衛生士さんのように、患者さんにいつも笑顔で接し、仕事に誇りを持ち、責任感あふれる人になりたいです。老若男女問わず、誰からも好かれる、話し上手な“町の歯科衛生士”を目指して頑張っています。

介護予防指導士の資格を取得した学生と指導者

**先輩がやさしく指導
 1、3年生が合同実習**

本校1年生と3年生の合同実習が、4月20日に行われました。

実習では、3年生が1年生の歯の型取りをし、取った歯型に石膏を流して模型を作り、1年生に渡しました。

1年生は、3年生が実際に型取りをしている様子を間近に見て、真剣にメモを取っていました。

3年生が後輩の1年生に丁寧に説明している姿は、本校でのこれまでの学びとともに臨床実習での経験による成長が窺え、とても頼もしく感じられました。

入学したばかりの1年生は、先輩の指導する姿に、緊張がほぐれた様子で、目標とする歯科衛生士の姿を具体的に



1年生と3年生の合同実習

感じられたようでした。

合同で実習することで、1年生にとっては先輩から学ぶことも多く、3年生には指導することを学べるなど、ともに有意義な時間となっていました。



どの対応例など、性犯罪を防止するための対策を教えていただきました。続いて実技講習に入り、学生が二人一組になり、手をつかまれた際などの護身術を体験しました=写真。

セミナーでは、「被害にあってしまった一人で悩まず、早めに相談すること」「友達が困っていたら相談をすすめること」などのアドバイスを受けました。

安全対策など学ぶ

性犯罪防止セミナー

夏休みを前に、恒例の性犯罪防止セミナーが、6月19日に本校で行われました。

講師として、警察OBで学園グループの生活安全センターの廣田佳行所長、太田警察署生活安全課の岡田奈津江警部補が来校、講義や実技指導が行われました。

講義では、岡田警部補からエレベーター内の立ち位置やオートロックマンションの入り方、道を尋ねられた際な



高齢社会に向け資格認定

「高齢社会に対応できる歯科衛生士に」と、3年生47人が、5月8~11日の4日間にわたり、日本介護予防協会の介護予防指導士講習を受講、修了後に資格を認定されました。

介護予防指導士とは、多くの方が豊かな老後を過ごせるように要介護者だけでなく、健全者に対しても介護予防に関する指導をするための資格です。

**3校合同歩行ラリー
 荒川・飯田ペア第1位**

4月27・28日に本校1年生が群馬法科ビジネス専門学校、中央農業グリーン専門学校と3校合同で歩行ラリーを行いました。

元気よくスタートした学生たちでしたが、1日目はチームとしては最下位のスタートでした。初日終了後、反省点や改善点をペア・グループで話し合い発表し、情報の共有化を図りました。初日の反省点を生かし臨んだ2日目では、荒川のぞみさん（太田フレックス高校出身）・飯田梨乃さん（伊勢崎商



業高校出身)ペアが白キャンバスでペア優勝を果たしました=写真。

学生からは「歩行ラリーを通して、何事もやってみて失敗から学ぶことがいかに大切なことなのか気付くことができた」「1人では難しいことも仲間と協力しあうことで達成できるのだと思った」などの感想がありました。

1年生にとって初めての大きな行事でしたが、今回の歩行ラリーで多くのことを学んだようでした。

横坂 楠さん
 (沼田女子高校出身)

国家試験合格を目指す

△本校を選んだ理由

「学びながら働く、働きながら学ぶ」ことのできる環境に、他にはない魅力を感じたからです。1コマ50分で、木曜日以外は午前で授業が終わるので、授業も集中して取り組め、予習復習や学校生活にも心に余裕が持てると考えたからです。また、駅から徒歩で通える場所にあることも選んだ理由のひとつです。

△クラスの雰囲気

個性豊かでとても明るいです。まだこのクラスの仲間と過ごして日が浅いのですが、歩行ラリーを通じてここぞというときの団結力と目標に向かって諦めずに挑戦し、やり遂げようとする気持ちの強さをすごく感じます。3年後の国家試験もそれに向けた勉強も切



高崎校 新入生インタビュー

磋琢磨(せっさたくま)
 しながら乗り越えられ
 そうです。

△好きな授業
 歯科衛生士ならでは
 の、予防処置論・診療

補助論・保健指導論の授業です。夢に少しずつ近づいていることが実感できて、わくわくするのと同時に気が引き締まります。高校よりも更に深くなつた生物学も、体の働きなどいろいろ勉強になって楽しいです。

△どんな歯科衛生士になりたいか

丁寧な治療と対応で患者さんに寄り添い、不安な気持ちを取り除くことができる歯科衛生士になりたいです。また、ホワイトニングコーディネーターの資格も取りたいと考えています。まずは、歯科衛生士になるための3年間を頑張っていこうと思います。

富岡 茉音さん
 (高崎商科大学附属高校出身)

信頼される歯科衛生士に

△本校を選んだ理由

木曜日以外学校が午前中に終わり、午後は歯科医院でアルバイトができるなど、有意義な時間を過ごせると聞いて興味をもったからです。



△クラスの雰囲気
 みんな元気いっぱい
 で、楽しくとても明るいクラスです。

△好きな授業
 歯科診療補助論です。

△どんな歯科衛生士になりたいか

不安そうにしている子どもや患者さんに気を配ることができ、信頼される歯科衛生士になりたいです。

●太田・高崎合同で国内研修● 1年生が歯科医療機器会社など見学



太田校と高崎校の1年生が5月24・25日に、合同の国内研修旅行を行いました。

1日目は歯科医療機器の会社モリタを訪問、新しいユニットや歯科機器などを実際に見学、体験しました。またライオンの歯科衛生士による歯ブラシセミナーを受講しました。その後、歯の博物館で歯科についての歴史を学び、日本最古の義歯や歯ブラシを見学しました。

2日目は東京ディズニーシーを訪れ、お目当てのアトラクションなどを楽しみました。



◀国内研修で歯科医療機器会社を訪問

学生たちにとって、入学後初めての1泊旅行でクラス仲間との親睦も深まりました。

合同歩行ラリーで 見事「チーム優勝」

本校と高崎ビューティーモード専門学校との2校合同歩行ラリーが5月1・2日にかけて高崎市内コースで行われ、1年生が参加しました。がました。本校チームは、両日ともチーム順位1位に輝きました。

山崎あやのさん
 (吾妻高校 = 現 吾妻中央高校 = 出身)

何事にも明るく元気に

△本校を選んだ理由

オープンキャンパスに参加して、学校の雰囲気や先生、先輩方の優しさや話しやすさに惹かれました。私は短い時間で集中したいタイプなので、1コマ50分で学べて13時20分に学校が終わるところも魅力を感じました。

△好きな授業

歯科予防処置です。歯の模型を使つたり、自分の歯を観察し絵に表したりと、楽しく分かりやすく学べます。



△クラスの雰囲気
 全員が個性的で、毎日笑いが絶えないクラスです。休日になると月曜日が待ち遠しいです。

△好きな授業

歯科予防処置です。歯の模型を使つたり、自分の歯を観察し絵に表したりと、楽しく分かりやすく学べます。

△どんな歯科衛生士になりたいか

持ち前の元気と明るさで、歯科医院に対して怖いという気持ちを抱いている患者さんの不安を取り除くとともに、歯石や汚れもきれいに取り除きたいと思います。

夢に向かって

岡安 舞美さん

(共愛学園高校出身)

元気と笑顔を患者さんに



子が多いけれど、それも受け入れて笑ってくれるような優しいクラスです。

△好きな授業

歯の模型を使う「歯科予防処置論」です。模型の授業は、座学ばかりで辛いなか、ちょっとした実習をしているみたいで楽しいです。

△どんな歯科衛生士になりたいか

歯科の先生だけでなく、同僚や先輩、患者さんからも必要とされ、信頼されるような歯科衛生士になりたいです。毎日、笑顔で患者さんに接し、元気と笑顔を与えられたらと思います。

「和食アドバイザー」 検定準備で調理実習

「和食アドバイザー検定2級」受験のための調理実習が、6月19日にグループ校である中央農業大学校のクッキングスタジオで行われました=写真。

同校の先生から和食の基本である出汁(だし)の取り方を丁寧に教えていただき、小松菜のごま和えや豚のしょうが焼きなどを作りました。日本人は発酵と出汁にうま味を感じることなどを学びながら、カツオと昆布の合わせ出汁を取りました。

学生たちは今後、「代表的な郷土料



理」の調理実習と、テキストを使用しての講義を受け、和食アドバイザーの検定を受ける予定となっています。

歯科衛生士としての保健指導は、ブランシング指導だけでなく食生活指導も行うので、卒業後に和食の正しい知識が仕事に生かせると期待しています。



チーム優勝し表彰される
 学生代表

事に終えることができました。学生からは「『やってみて考えること』『失敗から学ぶこと』の大切さが学べた」との感想が多くありました。

入学間もないため、あまり話す機会のなかった学生同士がペアを組み、今まで知らなかった仲間の一面を知ることができ、クラス全体の団結も深まった2日間でした。

学校法人 有坂中央学園

GLC 群馬法科ビジネス専門学校

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-49-1 TEL 027-256-7700(代) FAX 027-256-8811

www.chuo.ac.jp

CHUO
中央カレッジグループ平成30年度
公務員試験

警察官、自衛官が好調

平成30年度公務員試験がスタート。群馬県警察官5月試験、埼玉県警察官第1回試験、長野県警察官第1回試験、自衛隊一般曹候補生第1回試験の1次合格が発表され、本校学生は総計70人を超える合格を勝ち取り、好調な出足となりました。

群馬県警察官の1次試験では、本校からは大卒者および大卒見込み者が受験する警察官Aの区分で3人、高卒者向けのBの区分で37人の合格者を輩出することができました。埼玉県警察官採用試験では、高卒区分で6人が1次合格、長野県警察官採用試験でも、高卒区分で2人が1次合格を果たしました。

た。2次試験および最終試験でもこの好調さを維持できるよう、学生・職員が一致団結して対策を進めます。

2次試験では、体力検査および集団面接が実施されます。特に集団面接では、警察官は一般市民に対する「サービス業」であるという位置づけから、コミュニケーション力や志望動機につ

いて高いレベルの回答が要求されます。警察官という職業に対する漠然としたイメージに留まらず、なぜその県を選んだのか、自分の長所やこれまでの経験を警察官の業務にどう生かすか、具体的で説得力のある回答を準備する必要があります。

自衛隊一般曹候補生試験は、本年度

は5月試験が実施され、こちらも1次合格が総計24人と健闘しています。面接に向け、他の公安職との違いを調べ、整理しておく必要性があります。

その他の公務員試験は、これから夏にかけて、各県警の2次・3次試験や、一部の市町村職員、大卒者向け試験を中心に展開されていきます。

質問項目

Q4 Q3 Q2 Q1
今後への思いと意気込み
高校時代の思い出
きっかけはですか
目指している公務員は

今春から本校で、公務員を目指し勉強に励んでいる1年生。コースや志望先はさまざまですが、3人の新入生に、目標と意気込みを聞きました。

新入生インタビュー

苦手部分を克服し、消防士に
警察官・消防士2年制コース
関口 颯さん
(常盤高校出身)



Q1A 消防士になりたいです。
Q2A 私が生まれる前のことですが、祖父が火事で亡くなりました。母からその話を聞き、火事によって大切な家族を失う苦しい胸の内を知りました。私のように、身近にいる大切な家族を火事によって失う人をなくしたいという思いから消防士を目指すようになりました。

Q3A 高校時代はサッカーチームに所属していました。リーグ戦の前期ではスタメンとして試合に出場していましたが、ある試合で大きな失敗をしてしまい、スタメンから降りてしまいました。リーグが後期になってもスタメン出場することができず、サッカーへのモチベーションが落ちかけていました。ちょうどリーグ戦残留をかけた試合で、残り10分のタイミングで出場することになりました。今さらやれることは少ないし、出場しても意味がないのではと思いましたが、気持ちを切り替えてチームのために体を張りました。その結果、運よく決勝ゴールを決めることができました。チームのためにできることを考え、自分を信じて練習に取り組んだことで、チームのリーグ戦残留に貢献することができました。

Q4A 1年目で合格を決める目標を持って勉強に取り組んでいます。授業を通して学力を高め、心身の向上に努めています。消防士の仕事は、重いものを持つこともあります。消防士として相応しい体力づくりをしていきます。勉強の面では、1年目から受験することを考えると、自分のストロングポイントで勝負したいです。日本史が得意なので、今後の授業を楽しみにしています。ただ、苦手部分の克服は難しいところもありますが、判断推理や計算などをさらに伸ばすことで、難しい試験を突破できるようにしたいです。

語学力生かし公務員に
国家・地方公務員2年制コース
神山 りおさん
(四ツ葉学園中等教育学校出身)



Q1A 地域の人々の身近で働く、市町村職員を目指しています。
Q2A 私は老若男女誰にでも親しくフレンドリーに話せるところが長所です。その長所は、市役所職員の仕事、とくに窓口や受付に生かせると思います。また、英語に興味を持っていて、勉強を続けています。今では少し話せるようになりました。今後、外国の方が日本や群馬県に訪れるケースが増えることが予想されますので、語学力を生かし、コミュニケーションをとりたいと思います。

Q3A 高校2年生の時に、2週間ほどアメリカへ修学旅行に行きました。老人ホームや幼稚園への見学では、実際に英語を使ってコミュニケーションをとったり、事前に準備していったもので遊んだりしました。また、伊勢崎市と提携しているミズーリ州立大学の講義を受講する機会がありました。意思を伝える場面ではどうやったら伝わるのか、相手の話を聞く場面ではどうやったら理解できるのかを考え、工夫しました。ここでの経験で得たことを、公務員になってからも生かしていきたいです。

Q4A 2年制のコースの利点を生かして、1年目ではしっかりと基礎固めをしたいです。英語は得意なのですが、政治経済や文章理解がともともと苦手でした。覚えなければならぬ専門的なワードだけだと覚えていくので、なぜこうなるのかという疑問を解決できるように意識しています。授業中は板書だけでなく、先生が授業で話してくれるコメントもノートにとり、分からぬことを質問したり調べたりしながら勉強しています。家では、自分で伸ばしたい科目を中心に学習しています。判断推理のように、授業だけでは補えない科目もあるため、家庭でしっかりと復習する時間を大切にしています。

学校事務や行政職が希望
国家・地方公務員上級15ヶ月コース
喜樂 彩乃さん
(前橋女子高校出身)



Q1A 現在は、学校事務か市役所の行政職の受験を考えています。
Q2A 元々、私は身体の弱った人を救うことができる医療系の道を志し、大学に進学しました。「医療とは何か」を学ぶうちに、現場では、り患した人への対応はできる一方、病気の予防や公衆衛生の正しい知識を理解してもらうことが難しいと知りました。その課題に取り組むには、行政からのアプローチが最適だと考えました。昔から大好きだった子どものために、病気の予防や公衆衛生に関わる仕事を目指しています。

Q3A 私は食物部と地学部に所属していました。食物部では部長を経験し、部員と相談しながらメニューを決めて料理し、食事を楽しみました。地学部では研究班に所属していました。夜間に星を観たり、太陽から出る電波を測定したりしていました。ちょうど皆既日食が朝から昼間くらいの時間にあったため、授業をお休みさせていただき、天体観測をしました。数十年に一度という大変貴重な経験を通して、時間の経過によって太陽からの電波が減少しているところを観測できたのが、高校時代のとても印象的な思い出です。

Q4A この学校に入ったからには、絶対に公務員試験に合格したいです。この学校に入学する前から、理系科目は得意としていますが、文系科目についてはあまり得意ではありません。私が公務員試験に合格するためには、得意科目を伸ばすよりは、苦手科目を引き上げる方が効率的だと思います。そのため、文系科目は授業で基礎を固めて、家で復習するようにしています。知識量が足りないと感じているので、少しずつ増やしていきたいです。昔から過去問を解かなかつたので、出題傾向がつかめません。そのため、出題傾向をよく理解している先生方の授業がとても参考になります。

高校の先生に公務員試験情報 県内28校との交換会開く

県内の高校で進路指導などを担当する先生たち28校28人が参加した平成30年度「公務員試験情報交換会」が5月24日に本校で開かれました。

情報交換会は、長年にわたって公務員試験の受験指導を行ってきた本校や同試験の出版事業などを展開する実務教育出版社が、進路指導を通じて公務員試験に関わる各校の先生たちに最新情報を提供、情報の共有化を図ろうとするものです。

当日は、林康宏校長のあいさつに

続き、本校と提携関係にある実務教育出版の平垣多以子セミナー事業部長が『「高卒程度公務員試験」の特徴と受験対策』というテーマで基調講演。

平垣部長は、資料をもとに各種公務員試験の動向や種類、試験日程、併願パターン、各試験の採用予定数、試験内容、合格最低点の分析、対策の立て方、SPI・SCOAへの対応方法のほか、30年度試験の最新情報などを参加した先生たちに紹介、説明しました。

本校からは、立見敦副校長が、学生



公務員試験の各種情報を説明する平垣部長

を指導する立場から県内の採用動向など詳細な最新試験情報を提供しました。

情報交換会に参加した先生方は、昨年度と比較して約25%増加し、高校生の進路指導における公務員への関心の高さが窺えました。

参加した先生からは、「昨年も参加させていただき、最近の採用状況や傾向などを把握できたいへん参考になった」「最新の試験情報を公務員を志望する生徒への指導に役立てたい」などの声が寄せられるなど、具体的で実践的な交換会となりました。

20人近い講座参加者には、現役の大学生のほか、社会人の姿も見られ、民間企業でのキャリアを社会への奉仕に生かそうという強い意志が感じられました。夜間講座の様子を見た本校在校生は、「夜遅くまで勉強に励むライバルがいると実感した」と驚き、本番に向かって、よい刺激を受けたようでした。



同じくする仲間同士で手を取り合うことが大切です。オリエンテーションはその一歩です。

大卒・短大卒向けに 公務員試験対策講座

校外の公務員志望者を対象とした大卒・短大卒程度の公務員試験対策講座が、本校で3月13日から約3カ月間にわたり開催されました。

公務員試験は、高卒程度、短大卒程度、大卒程度の3つに区分されます。この講座は、大卒程度、または短大卒程度試験の受験希望者を対象に、科目

別に実践的な解法を解説し、合格を支援しようとするものです。大卒・短大卒程度の公務員試験では、高卒程度の試験に比べ、より高度な教養知識が問われます。今回の講座では、数的推理、判断推理、政治経済といった主要科目を一日一科目の完結型講座で対策を行いました。

新聞記者の特別講義 ニュースが仕事に直結 新聞活用法を学ぶ

国家・地方公務員初級コース2年制の1年生が6月14日、上毛新聞社印刷センターを訪問、職業体験実習を行いました。新聞記者の特別講義と印刷工場見学がセットになったもので、本校の職業実践専門課程の一環として実施したものです。

特別講義の講師には、上毛新聞社で長年記者を経験し現在は編集局NIE担当を務める子安悟記者を迎え、情報伝達の歴史や新聞の活用法を語っていただきました。

子安記者は、メディアの変遷や新聞のレイアウトについて、その詳細を具体例も交えながら説明。また、改正民法の記事を紹介し、「成人年齢の引き下げに伴い、各自治体の成人式が変わるものかもしれない。ニュースが仕事に直



新聞について特別講義を受講する学生たち

結する」と解説しました。

今回の講義は、公務員を希望している本校学生にとって、新聞を読むことで得られる情報の有用性に気付き、より広い視野を持って公務員という仕事を考える機会となりました。

学生からは、「新聞で適切な言葉遣いを学び、生活に生かしたい」「群馬のことをより身近に感じた、これからも新聞を読み続けたい」との声があがり、公務員試験に向けての勉強に弾みがついたようでした。

学生たちは受講後、印刷工場内を見学しました。



実務教育出版担当者から講義を受ける学生たち

初級公務員ガイダンス

最新の試験情報学ぶ

本校と教育提携を結んでいる実務教育出版が、本校学生に最新の公務員試験情報や対策法を講義する「初級公務員ガイダンス」が、4月16日と6月18日に、学園本部館6階ホールで行われました。

実務教育出版は公務員試験関係の出版社における最大手として知られ、本校学生・職員にとって強力な支援者となっています。

ガイダンスでは、公務員試験で課される、教養試験、適性試験、面接試験

などについて、詳細なデータが提供されました。職種ごとの試験日程についての説明では、本命か否かに関わらず、積極的に受験の機会を持つようにとのお話をありました。

今回得られた情報をもとに、各学生が最終合格を目指し、一層の弾みをつけていくことが期待されます。

新任紹介

本年度から、新任教員として下山哲生先生と佐々木斎人先生が着任しました。お二人を紹介します。

佐々木斎人 先生
(文章理解担当)



ともに守破離の精神で

佐々木先生は、教育学部で小中学校の音楽の教員免許を取得。卒業後、主に資格教育や通信教育事業のデータ運用などに携わってきました。

趣味で、ペランダガーデニングを楽しんでおり、今年は果樹にも挑戦しています。

授業では、主に文章理解を指導。日本の古典芸能における思想の一つ「守破離」という言葉を紹介しながら、「学生には真剣に授業を受けるところから始め、自分なりに勉強のやり方を工夫し、責任感と創造性のある公務員として活躍してほしい」と語ってくれました。

下山 哲生 先生
(政治経済担当)

明るい未来に恋をして

下山先生は、大学で経済学を修め、卒業後に群馬に来てからは会計事務所や民間企業で経理の仕事に携わってきました。

先生は10歳の娘さんと過ごす時間を大切にしています。特に、ピアノの発表会が一番の楽しみだといいます。

本校では、主に政治経済を指導しています。経営コンサルタントの佐藤芳直さんの「明るい未来に恋をする」という言葉を紹介したうえで、「学生と一緒に日々真剣勝負で頑張っていきたい」と語ってくれました。

中央農業大学校の1期生として新たな仲間が学園にやってきました。各学科の代表学生に、学園生活や夢について聞きました。

新 入 生 イ ン チ ピ ュ イ

ファーム農業経営学科

清水 葉月さん
(勢多農林高校出身)

家業を成長させたい



農業経営学科

高橋 美紀さん
(栃木・真岡北陵高校出身)

イチゴ農家を継承したい



食農調理師学科

野村 幸音さん
(渋川青翠高校出身)

学校給食の調理師に



Q1. 本校を選んだ理由

実家が農業を営んでおり、本校で農業の専門的な知識や技術を学びたいと思ったからです。ファーム農業経営学科では企業と連携しているので実践的な実習を通して、いろいろなことを学べると思い選びました。

Q2. 好きな授業科目

水耕栽培実習です。私は体を動かすことが好きなので、企業での最先端の実践的な実習にとてもやりがいを感じています。中でも特に水耕栽培実習が好きです。この技術をしっかり身に付け将来に役立てたいです。

Q3. 先生の印象

先生は学生たちと明るく接してくれます。担任の先生も、とても元気で楽しいです。また実習先の企業には本校を卒業された先輩方もいるので、先生と卒業生と学生とがとても良い雰囲気の中、実習を行っています。

Q4. 将来、どんな仕事に就きたいか

ファームドゥグループで活躍できる人材になり、将来的には家業を継ぐことを考えています。本校や企業実習で学んだことを最大限活用し農業を営み、そして今よりもっと成長させたいです。

Q1. 本校を選んだ理由

私の家がイチゴ農家を経営しており、幼いころから家の手伝いをしながら父の背中を見て、将来自分も父のようなイチゴ農家になりたいと考えました。そこで専門学校を探す中で、農業実習を通して農業の基礎から学べ、多くの資格取得に挑戦できる本校に魅かれ選びました。

Q2. 好きな授業科目

特に農業実習が好きです。農業実習ではクラスのみんなとコミュニケーションを取りながら活動するためとても楽しいです。また、機械に頼らず自分たちの手作業で進めることも多く慣れるまで大変な時もありますが、自身の成長を感じられる点が好きです。

Q3. 先生の印象

学生一人ひとりに丁寧に接してくださり、一生懸命な印象です。また、授業は面白く分かりやすいです。資格試験に合格できるように力を注いでくださる先生方です。

Q4. 将来、どんな仕事に就きたいか

将来は父が経営しているイチゴ農家を継承したいです。またイチゴを生産し販売するだけではなく、本校で学ぶ加工技術も活用、商品化して販売できるよう取り組みたいです。

Q1. 本校を選んだ理由

和・洋・中を問わず、さまざまなジャンルの料理に関する知識技能を学ぶことができ、少人数制の授業を取り入れているため、学生一人ひとり丁寧に指導してくれることから選びました。また、調理だけでなく、野菜栽培についても学ぶことができ、調理する野菜の知識も得られるところも選んだ理由の一つです。

Q2. 好きな授業科目

調理実習です。今まで作ったことのない料理を作ることができ、和・洋・中の料理レシピを覚えられるところにやりがいを感じています。料理のレパートリーがどんどん増えていく実感があります。

Q3. 先生の印象

学生との距離が近く、とても気さくで話しゃい先生たちが多い印象です。皆、私たちを熱心に指導してください。

Q4. 将来、どんな仕事に就きたいか

調理師です。幼い頃から学校給食が好きで、給食の時間がとても楽しみでした。私も子どもたちに、おいしい給食を食べてもらい、給食の時間をわくわく楽しみに待ってもらえたと思っています。

「学びながら職業体験」

日本版デュアルシステムが始動

本校とファームドゥグループが職業教育連携したファーム農業経営学科が始動しました。

この取り組みは、農業の6次産業化を目指す専門学校と新世代の農業を目指す企業が手を組むことで、農業で世界に貢献できる人材を育成するものです。

学生たちは本校での座学のほか、ファームドゥグループの協力で、1次産業の生産を「農業生産法人ファームクラブ」で、2次産業の加工を「ファームキッチン」や「集荷場」で、3次産業の販売・流通を「食の駅」や「地産マルシェ」で実践的に学びます。

△「育農基金」を有効活用

ファーム農業経営学科の各コースには、独自の「ファームドゥ育農基金」が適用されます。この仕組みは、「学びながら働く」日本版デュアルシステムとしてファームドゥグループでの実習を単位と認めるもので、実習も含め



ファームドゥグループのハウス内で指導を受ける学生たち

いわば、「学びながら働く」「働きながら農業新技術や経営を実践的に学ぶ」ことのできる新たな取り組みです。

既に同学科1期生となる1年生は、ファームドゥグループの施設で、午後の時間を使って実習に入っています。

学校での全ての授業評価に応じ、校納金、実践教育指導費を年間最大101万円×4年間、奨学金として支援します。これにより、本人負担は入学金と学級費約34万円のみで入学が可能となります。

詳細については本校ホームページで確認してください。



1、2年生が参加し田植え実習

ドローンで作業空撮も

本校恒例のコシヒカリの田植え実習が5月31日、宮城農場で行われました=写真。

田植え作業は今年も前年同様チーター制を導入、農業経営学科2年生有志4人による指揮のもと、農業経営学科・ファーム農業経営学科1年生と食農調理師学科2年生の総勢50人以上が参加。横一列になった学生たちは、息を合わせ、苗を一株一株丁寧に手作業

で植えていました。

同時に、他の水田3カ所では機械を使った田植えも行われました。

また、田植えの様子を農業ICTコース2年生がドローンを使って空撮するなど、伝統の農作業と最新技術が一体で取り組まれた本校らしい雰囲気の中での実習となりました。

学生たちは今後、栽培管理をしながら、秋の収穫を目指します。この努力が、本校のブランド米「はたちのコシヒカリ」として結実、販売の目玉となります。

花と緑のぐんまづくりコンテスト

小菅さんが特別賞に

吉岡町を中心開催された花のイベント「花と緑のぐんまづくり2018 in 吉岡」(4月14日～5月13日)のメインイベント「花と緑のコンテスト」に本校農業経営学科フランク&園芸ビジネスコースの2年生7人が出展。業界のプロも出展するなかで、学生作品が見事入賞しました。

〈おもしろプランター部門〉

▽一般投票特別賞

小菅 千晴さん

吾妻高校(現:吾妻中央高校)出身
作品名:「鬼ヶ島」

作品コメント:流木をプランターに利用し、山岳をイメージして作りました。恐ろしいイメージの鬼ヶ島ですが実際



流木を使った小菅さんの作品「鬼ヶ島」

はどうなのか。平和なイメージで作成してみました。

「はたちのみぞ漬け」

店頭で対面販売実習

本校の6次産業化教育を象徴する商品ブランドである「はたちシリーズ」の一つ、「はたちのみぞ漬け」が今年も完成。5月26日にファームドウ食の駅前橋店で対面販売実習を行いました。

J.A.上野村との連携により、前橋市上泉町の伝統野菜である上泉理想大根を十石みそで漬け込んだ「はたちのみ



人気の「はたちのみぞ漬け」

うに、材料から作り方まで、動画で丁寧に紹介しています。その時期の食材を使用することも和食の大きな魅力のひとつ。春にはよもぎ、夏にはなすやいんげん、秋は栗、冬は根菜で煮込みなど、季節感を生かした内容となっています。

また、毎回、ゲストに外国の方を招き、一緒に調理したり、試食していただいている。さらに、英語版を通じて、世界中の方々に和食の魅力を配信しています。ぜひ「和食チャンネル」で検索してください。



団生活や実習などに生かしていくといいます。

馮 国釣さん(留学生)

1日目の教訓をくみ取り2日目に大進歩を遂げることができました。過去の失敗は前進の方向を導くことができることを信条にこれからも頑張ります。

歩行ラリー

白キャンパス ペア向上賞1位

新保・馮ペア

(ファーム農業経営学科
ソーラーファームコース)

1年生対象の合同歩行ラリーが4月27・28日にかけて行われました。初日の失敗を反省し、2日目に生かした本校の新保・馮ペアが白キャンパスのペア向上賞1位に輝きました。

コメント

新保 優香さん(勢多農林高校出身)

さまざまな失敗やその改善を行なう経験を積み、この学びを集

学生ボランティアに33人



活躍が期待される学生ボランティア部

イベント参加や商品開発

新入生を迎える、本年度もサークル活動が始動しました。本校に学生ボランティア部が発足して3年目となる今年は33人が参加し、地域のイベントへの参加や企業などと連携した商品開発を行なう予定です。

すでに放課後の活動の時間を利用し、昨年度から連携を行なっている長野県南相木村の担当者を本校に招き、学生に向け本年度の連携について説明を受けました。

昨年度は、南相木村産の新鮮なイタリア野菜を使用した校内レストランの運営や、かわせみ祭での野菜販売などを行なったが、本年度は村で収穫したトウモロコシのペーストを使用して共同で商品開発を行う予定です。

説明とともに、実際にトウモロコシのペーストを試食した学生たちは、その甘さに感動、商品化に向けた第一歩となりました。

「まちだ式メロン」栽培が順調

前年度から取り組んでいた「まちだ式新農法」を用いたメロン(まちだ式メロン)の水耕栽培が本年度も順調に推移しています。

初挑戦の昨季は1株で約40個収穫、食味も非常に高い糖度を計測するなど大きな手ごたえを感じました。今季は更なる増収と品質向上を目指し、春から播種を開始、ハウスでの育苗を経ての移植栽培も試験的に行なうなど、年2



まちだ式水耕栽培で順調に育つメロン

回収穫できる体制の確立を目指しています。気候条件への対応など試行錯誤の日々ですが、最初の収穫はもう間もなくです。

有機認証機関に関心を

日本農林規格登録認定機関:特定非営利活動法人日本オーガニック認証協会(旧:奥多野有機システム認定審査委員会)は、平成13年4月から有機認証に取り組んでおり、同29年7月に本校内に事務所を移転しました。

有機JASマークは、太陽と雲と植物をイメージしています。農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、適合した農産物に付けられます。

本協会は、農林水産省に登録認証機関として登録されており、認定事業者と連絡を取り、適合性判断基準を満たしているか(安全・安心な農産物)の

審査業務を行なっています。関心のある方の問い合わせをお待ちしています(TEL:027-220-4033 石川まで)。

「お弁当コンテスト」
応募してみませんか

「地産地消」をテーマに、5回目の開催となる「お弁当コンテスト」の募集が始まります。

お弁当に2品以上地産地消の食材を使用することが条件で、料理は和食・洋食・中華等ジャンルは問いません。応募期間は、平成30年7月17日～9月3日です。栄養面、美味しさ、そして楽しさの詰まったお弁当の応募をお待ちしています(詳細は本校ホームページの第5回お弁当コンテスト募集要項を参考にしてください)。

新任紹介



石関 和泰先生
(教務部長)

何事にもチャレンジを

石関先生は農業研修生の交流事業に携わり、海外へ行く日本人の派遣や、日本に来る外国人の受け入れを

通じ、農業者の育成を行なってきました。国際農業者交流協会欧州支部に駐在した経験もあります。また、日本から台湾への農産物の輸出も手掛けっていました。

前任の群馬法科ビジネス専門学校からの異動となります、「学生には日本の農業を担っていかれるよう、何事にもチャレンジする気持ちを強く持たせたい」と意欲的です。よろしくお願いします。

新たにスタートした中央情報大学校の新入生たちに、将来の夢や希望について聞きました。

高度 ICT
 デザイン学科1年

羽鳥 司さん
 (藤岡中央高校出身)



基本情報技術者試験に挑戦へ

私は、知識ゼロ・技術ゼロの状態で入学し、最初はITの右も左も分かりませんでした。最初は覚えることが多くて大変でしたが、授業で分からなかった所は、先生が分かるまで丁寧に教えてくれるので、一歩ずつ確実に成長していくと実感しています。また、授業以外にも「勉強会」を先生が開催しているので、その中でプログラミングについて基礎から学んでいます。そして、10月21日に行われる基本情報技術者試験に合格すべく、先生が組んでくれたプランに沿って日々勉強に励んでいます。

知識・技術ともに多くを吸収し、将来はスポーツとITを繋げ、スポーツの良さや楽しさをもっと世の中に発信していき、それを牽引(けんいん)していく存在になりたいと考えています。

デジタル
 デザイン学科1年

前田美咲季さん
 (渋川青翠高校出身)



デザインの力付けたい

高校の総合学科に在籍時は、以前より興味のあったデザイン分野の授業を中心に受講し、その頃から高校卒業後もデザインを学べる学校に進学したいと考えていました。

高校生の時に本校のオープンキャンパスに参加したところ、他の専門学校と比較しても一番雰囲気が良く、先生や在校生も明るく接してくださり、また資格取得もしっかりとできると思いましたので入学を決めました。

実際に入学した後もオープンキャンパスの時と同じ雰囲気の中、日々の授業に取り組むことができています。

今は受験する検定を全て取得することを目標に頑張っています。デザイン関連のコンテスト出品や作品制作などを通じてデザインの知識と技術向上に励みたいです。

電気通信学科1年

小倉 良介さん
 (前橋育英高校出身)



目標は電験三種合格

本校への入学を決めたのは電気関係の高度な資格取得を目指せる学校だったからです。

私の祖父が電気工事関係の仕事をしていたこともあり、この分野には以前からたいへん興味を持っていました。本校入学前は電気とは無関係な仕事に就いていましたが、そんな中でも電気分野への興味が消えず、将来はやりがいを感じられる仕事がしたいという気持ちがありました。

入学前は専門的な知識が皆無であり不安はありました。講師の方々の丁寧な指導や放課後の補習などにより、入学後1ヶ月ほどの勉強で第二種電気工事の筆記試験については合格圏内に入る実力がつきました。卒業までには目標である電験三種合格に向け今後も頑張っていきたいと思います。



デジタルデザイン学科

「IT エンジニア」「電気工事」「CG ビジネス」「アニメまんが」の4コース制に

国際ビジネス学科

ランカ、インドネシアのほか、多くの国から来ています。

卒業後は日本で働きたいと思っている学生がほとんどで、昨年度の卒業生も多くの企業から内定をもらうことができました。

各コースで勉強したことを生かし、自分たちの「夢」「目的」をかなえてほしいと思います。そして日本と母国との懸け橋となってほしいと思います。

デザイナーの江藤さん招き
 パッケージデザインセミナー

デジタルデザイン学科は5月22日、国内外で活躍しているデザイナー、江藤正典さんを講師に招き、パッケージデザインのセミナーを実施しました。

江藤さんは、大手食品メーカーのパッケージデザインなどで知られるほか、デザインコンテストの審査員などを歴任されています。

セミナー前半は、江藤さんが関係する日本・アジア学生パッケージデザインコンペティションへの出品に際してのアドバイスや発想法についての講義、後半はワークショップを行いました。

討、個人発表までを行いました。江藤さんは、学生一人一人に適切なアドバイスをいただきました。

今回のセミナーを受講した学生たちは、日本・アジア学生パッケージデザインコンペティションをはじめ、作品づくりに向けて、新しいアイデア発想法を学ぶことができました。

e ラーニングで
 授業活性化

デジタルハリウッドと提携

本校は今年4月にIT関連及びデジタルコンテンツの人材を養成する教育機関『デジタルハリウッド』とeラ



e ラーニングでの学習

ニングを活用した授業活性化サービスを提携しました。

提携によって、選択科目の中にe ラーニングで自己学習できるオンライン講座を取り入れができるようになりました。

具体的には、専門分野の強化はもとより、より細かく掘り下げたい分野の補完ができる科目選択が可能になりました。

現在ではWeb、Unity、イラスト、ネット動画などに関連する講座の受講学生が自己学習に励んでいます。

ネット有害情報を監視

サイバーパトロールコラボレイター

群馬県警が本校学生に委嘱

「ネット上の違法・有害情報を監視・通報してください」。本校の高度情報システム学科・情報システム学科の学生を対象に、群馬県警が「サイバーパトロールコラボレイター」を委嘱。6月1日、その委嘱式が同校フリーラボ内で行われ、両学科の学生代表7人に県警サイバー犯罪対策課の高瀬巖課長から本部長名の委嘱状が手渡されました。本校では代表学生を含むメンバー20人でチームを組み活動に入ります。

委嘱式では研修も行われ、県警のサイバー犯罪対策担当者から、サイバーパトロールにおける心構えやインターネット上に流れている有害情報の実情、通報方法などについて具体的に説明がなされました。

今後、学生たちはチームを組んでイ

ンターネット上における有害情報・違法情報の通報や、広報啓発活動などを行ないます。活動に当たっては、「安全第一」を基本に、学生たちが持っているネットワークや各種情報系の知識・技術を用いて、サイバー空間上の治安維持活動で活躍してもらうこと



「サイバーパトロール」の委嘱式(上)と、研修で県警担当者の説明を受ける学生たち(下)

を本校としても期待しています。

本年度のサイバーパトロールの学生

ボランティアは、県内の大学・専門学校5校(35人)に委嘱されました。



見学した風力発電施設をバックにする学生たち

風力、水力など多彩な発電学ぶ

自然エネルギーパーク見学

電気通信学科1年生

電気通信学科1年生が6月8日、群馬県吉岡町にある「吉岡自然エネルギーパーク」を見学してきました。

坂東発電事務所の方から風力・太陽光・水力発電について、全国にある発電施設の構成や群馬県の消費電力量なども交え詳しく説明していただきました。

た。

また、風力発電の施設内部や水力発電施設を間近で見学できることも、たいへん貴重な体験となりました。

学生たちは、目標とする電気の国家資格取得に向け勉強の毎日ですが、視

点を変えた校外での学習はエネルギーの現状を知るうえで参考になり、また見学後は併設されている道の駅で足湯に浸かるなどリフレッシュもできたようです。

仲間と協力、タイム差競う

歩行ラリーに72ペア

1年生を対象にした本校の歩行ラリーが4月27、28日に行われました。学生は白キャンバス、黄キャンバスに分かれ、各キャンバスとも3チーム36ペア、総計72ペアがラリーに参加しました。

その結果、白キャンバスのチーム向上賞は鈴木チーム、ペア向上賞に池田・市川ペアが輝きました。また黄キャンバスのチーム向上賞は中澤チーム、ペア向上賞に武井・田野内ペアが輝きました。

▼白キャンバス・ペア向上賞1位の池田・市川ペア(表彰式で)

►黄キャンバス・ペア向上賞1位の武井・田野内ペア(表彰式で)



【白キャンバスペア向上賞1位】
池田 奏さん(デジタルデザイン学科1年、松井田高校出身)

【白キャンバスペア向上賞1位】
池田 奏さん(デジタルデザイン学科1年、松井田高校出身)

1日目は残念な結果でしたが、2日目は新たな気持ちで歩き順調にゴールすることができました。ペアとチームで向上賞を取ることができ、最高にうれしかったです。

市川 直人さん(デジタルデザイン学科1年、下仁田高校出身)

仲間やペアで協力し合いながら目標を達成でき、とても気持ちが良かったです。学校生活でも友達や先生方の力を借りながら課題をこなしていきたいです。

初めてのラリーで不安もありましたが、目標であった向上賞1位を取れてよかったです。ラリーで学んだ視野を広くもつことや失敗の改善点を素早く見つけ実行する力などを学校生活で身につけ、社会に出て発揮したいです。

田野内広人さん(情報システム学科1年、高崎工業高校出身)

今回の歩行ラリーで向上賞が取れてよかったです。この経験をもとにこれからも勉学に励み大きく向上したいです。また、社会人になっても向上心を忘れずに上を目指したいです。

早期内定めざし就職総決起大会

本校の就職対象学生の早期内定を誓う就職総決起大会が4月17日、高崎労使会館で行われました。この会には、学校法人・中央総合学園のグループ校、高崎ビューティモード専門学校も合同参加しました。

学生たちは、「一致団結! 力戦奮闘!」など、各ゼミで決めたスローガン



早期内定に向けた就職総決起大会

をのぼり旗に掲げ、内定を勝ち取るために決意表明を行ないました。

中島慎太郎理事長(学校長)の激励の言葉を受け、就職活動に向けて本格的なスタートを切りました。

1年生対象に講演

薬物乱用防止セミナー

1年生を対象にした薬物乱用防止セミナーが5月8日、本校で行われました。

薬物被害に関するDVDを視聴後、学園グループ生活安全センターの廣田佳行所長が講演。実際に群馬県内で起きている薬物被害の現状や逮捕者数などを具体的に紹介しながら、薬物の怖さや依存性について分かりやすく説明、注意を呼びかけました。



本校で行われた薬物乱用防止セミナー

学生たちは、初めて聴く内容もありましたが、他人事ではなく身近な問題として意識したようです。

学校法人 中央総合学園 厚生労働大臣指定 美容師養成施設

TBM 高崎ビューティモード専門学校

〒370-0841 群馬県高崎市栄町13-1 TEL.027-310-2220(代) FAX.027-327-6344

www.chuo.ac.jp

CHUO
中央カレッジグループ**新入生の抱負**

高崎ビューティモード専門学校に、本年度も新たな仲間が加わりました。将来の夢などを語ってもらいました。

●国際美容師学科

倉上 萌さん
(深谷第一高校出身)

カラーリストの道に

私は国家試験に合格し、将来カラーリストとして働きたいと思っています。幼い頃から美容師に憧れています。その中でも特にカラーリストになりたいと思うようになりました。

カラーリストはお客様の希望に応えることはもちろん、個性を表現できる職業です。お客様の髪や肌のことを考え、希望通りの髪色に仕上がるよう工夫をする、実にやりがいのある仕事であると私は思います。そのためにも、授業では常に考えながら作業をし、座

夢にかかるつて



学でも多くのことを吸収できるよう意識しています。

簡単な職業ではありませんが、努力することを怠らず、自分が思い描くカラーリストとしての理想像に近づけるよう頑張っていきたいです。

●国際ビューティ学科

茂木 詩乃さん
(勢多農林高校出身)

アイリストになりたい

私の夢はアイリストになることです。中学生の頃から美容系の仕事に興味を持ちはじめ、明確にはどの職業とは決めていませんでした。そんな時、本校でアイリストという職業を知り、私もなりたいと思いました。

将来はアイリストだけでなく、メイクやネイルなどもできるトータルビューティシャンになりたいです。そのため、国際ビューティ学科でメイク・エステ・ネイルの基礎を学び、美容師通信学科で国家試験である美容師免許を取得するため、日々努力をしていき



たいと思います。

そして、多くの知識や技術を身に付けると同時に、言葉遣い、礼儀、マナーもしっかり学び、コミュニケーション能力も身に付けるため、これからは学校生活を充実させていきたいです。

卒業生の現在

10

「Ala Hair」
=伊勢崎市今泉町

羽根木 潤さん (6期生)

羽根木 綾香さん

(旧姓・清水、5期生)

未来ある業界に

職側、採用側ともに熱い思いを感じ取ることができました。

本校は開校以来、高い就職率を維持



しています。今年も学生と教職員一丸となって完全就職を目指します。

早期内定勝ち取るぞ**2校合同で就職総決起大会**

学校法人中央総合学園の2専門学校(高崎ビューティモード・中央情報大学校)による合同就職総決起大会が、4月17日に高崎労使会館で開かれました。

参加者全員が必勝はちまきをして臨んだ大会では、クラススローガンを書いた特色のあるのぼり旗が並び、熱気があふれました。

中島慎太郎理事長(中央情報大学学長)、本校の高橋紀幸校長の激励

のあいさつに続き、各クラスの学生代表者と担任が壇上に立ち、「早期就職内定100%」を目指して決意表明。内定に向け、仲間と共に気勢を上げ、クラススローガンと全員の名前を書いた色紙を、校長へ手渡しました。

会場には、激励の言葉が飛び交い、「早く就職を決めたい!」という学生の強い思いが会場を埋め、就職活動の本格始動を実感させました。

今回、紹介する卒業生は、通信学科6期生の羽根木潤さん、妻で5期生の綾香さん(旧姓清水)です。羽根木さんは4月1日に伊勢崎市にAla Hairをオープンしました。

羽根木さんは通信生として、美容室で働きながら学んでいたため、仕事と学業とのやりくりが難しく特に国家試験では苦労したそうです。「そんな中、先生たちが熱心に一人一人親身になって指導してくれたことで、憧れの美容師免許を取得することができました」と振り返ります。

現在は、全てのお客様に対し、常に最高の技術でおもてなしできることにやりがいを持ち仕事をしています。綾香さんは、そんなご主人を受付やアシスタント業務でサポートしています。

これからの美容業界に対し、「われわれ新しいオーナーたちで、未来ある学生たちに美容師になりたいと思われるような業界を創りあげたいと思っています」と熱く語ってくれました。

美BTAR TOKYO 2018 東京の就職イベント見学

美容学生向けの就職イベント「美BTAR TOKYO 2018」が4月24日に東京の駒沢オリンピック公園内の総合運動場体育館で開かれ、本校学生も参加しました。本格的な業界就職活動のキックオフです。

今回は、企業企画イベントに66社の参加があり、有名サロンや個人店、100店舗以上を展開しているサロンま

で多彩なお店が参加していました。

学生たちは、会社概要や採用条件などを中心に説明を聞いたほか、DVDやパソコンで店内の様子やヘアショー、コンテストの模様も見ていました。

また、学生と採用担当者との間で積極的な質問や実技体験(ヘアメイクブース出展)もあり、施術の最中にも意見交換ができるなど、会場全体から就

サロンの人とも意見交換

セイファートセミナー 「バーバースタイル」テーマに 海外講師が技術披露

海外からトップスタイルを迎える恒例の「セイファートセミナー」が5月28日に本校で開催されました。

このセミナーは、学生たちに世界の美容技術を紹介、感性を高めてもらおうと企画。海外の一流講師を招き、美容デモンストレーションを行ってもらうものです。

特に本校は海外研修や海外留学を通じて海外美容界と繋がりがあり、毎年イギリスやスペインからトップスタイルを招き講習を行っています。

今回のセミナーでは、欧米のメンズスタイルでは定番化していて、日本でもブームが来ている「バーバースタイル」を取り上げ、本校の学生2人がモデルとなり本場イギリスのバーバースタイルを学びました。バーバースタイルとはバリカンを使い鮮やかなフェードを作り上げていくスタイルです。また、アレンジとして刈り上げ部分にバリアートテクニックをするのも特徴です。

本校では毎年このようなセミナーを開催するほか、留学生を受け入れるなど、海外が身近に感じられる環境が整っています。

【当日のセミナー講師紹介】

Chris Muskett (クリス・マスケット)

ロンドンで活躍するメンズヘアスタイル。イギリス最大の教育グループである、「The MHFED」Men' Hair federationsの一員。数多くの講習実績があり、City & Guildsアンバサダーで国際的なメンズヘアの教育指導者として活躍しています。



セミナーに参加した学生と講師たち



講義するジャスティン



「バリアート」の技術も



技術を披露するクリス

有職者や中途退職者などの “学び直し”の受け皿に

TBM Life Learning 設立

TBM (高崎ビューティモード専門学校)では、有職者や育児で休職中のの人材などを対象に新たな学び直しの支援や受け皿として「TBM Life Learning」を設立しました。この制度は、個々の能力を最大限に活用し、その力を発揮できる環境にしていきたいという目的から本校独自に始めた再チャレンジ支援事業です。

本プログラムでは、美容業界有職者や早期離職者、子育てで就業を中断した女性、フリーター、ニートなど年齢やそれぞれのニーズに合わせた教育指導を実施し、履修期間を経て、学びの結果としてキャリアアップや再就職などに繋げていくというものです。

プログラム内容は多数あります。具体的には、美容室にいたん就職したものの早期離職し、もう一度勉強したいと思っている人にはベーシックカットなどで専門的な実践プロ

グラムを実施し、学び直しをする方法があります。

また、キャリアアップとしては、それまでにはなかった考え方や新たな視点、技術・技能の修得もできます。例えば、メイクアップの資格を取得し、その後学習成果を生かした再就職へのチャレンジもできます。

TBM Life Learningの問い合わせは本校 (☎027-310-2220) まで。

科大学附属高校出身)、比留田翔さん(桐生第一高校出身)ペアでした。

2日間の中で、クラス・学年を超えた交流もあり、学生の笑顔の絶えない表情からは、とても充実した様子が見受けられました。参加学生たちは、今回の経験を通して「授業でも失敗した原因をしっかりとと考えたい」「他クラスとの交流ができ楽しかった」などの声が出ていました。



参加した学生たち

ビューティーワールドジャパン 美の祭典を1、2年生が見学

ビューティのすべてが集結する美の祭典「ビューティーワールドジャパン」(5月14日～16日、会場：東京ビッグサイト)が開かれ、初日に国際ビューティ学科の1、2年生が見学しました。

毎年、新たなトレンドを発信するビューティーワールドジャパン。今年は、規模が拡大され、出展が約600社となり、コスメゾーン・スパ&ウェルネスゾーン・ダイエット&ヘルスゾーン・ナチュラル&オーガニックゾーン・ビューティサプリメントゾーンなど美容

のあらゆる情報を感じる祭典となりました。

当日は出展各社による技術セミナーや最新の製品などが披露されました。

来場者も参加できる魅力的なイベントも多く、学生たちもプロのデモンストレーションを見学したほか、各ブースで新商品などを手に取ったり、会場直販のコスメアイテムを購入するなど楽しみながら最新の美容技術・商品知識などを学びました。



表彰される向上賞1位ペア

合同歩行ラリー

仲間と協力、失敗から学ぶ

ペア向上賞1位に菊池・比留田組

本校と中央医療歯科専門学校高崎校の2校合同「歩行ラリー」が、5月1、2日の2日間、本校周辺コースで行われました。

「歩行ラリー」は、学生がペアになりコマ地図を頼りに、設けられたチェックポイントを協力しながらめぐる問題解決能力向上の研修。本学園グルー

ープの基本となっている「やって・みて・考える、事実(失敗)から学ぶ」の方針が象徴的に表れた行事です。



表彰される向上賞1位ペア

45人が学び舎に

前橋校・桐生校 初の合同入学式

中央高等専修学校（前橋校・桐生校＝クラーク記念国際高校前橋キャンパス・桐生キャンパス）の平成30年度入学式が4月14日、中央カレッジグループ本部館ホールで行われ、2校合計で45人が本校生徒の仲間入りをしました。両校の入学式が、合同で行われるのは初めて。前橋校は第20回、桐生校は第11回の歴史を刻んでいます。

多くの来賓・保護者の見守る中で行われた初の合同入学式には、前橋校32人、桐生校13人の新入生たちが夢と希望、期待と不安を抱きながら臨みました。担任による呼名には全員がはつき

りと大きな声で返事、これから始まる高校生生活への決意が感じられました。

清水洋学院長の式辞、来賓代表祝辞、在校生歓迎の言葉を受け、両校の新入



生代表（吉田萌乃佳さん、矢野樹さん）が、今後の勉学への思いを誓いました。

新入生たちは、学び舎こそ前橋校・桐生校に分かれての高校生活となりますが、両校それぞれで過ごすこれからの日々が、ともに実りの多いものになり、自らの成長に大きな役割を果たしていくことを期待しています。そのためにも、教職員一体で支援していきます。



前橋校・桐生校、初の合同入学式

国際ロータリー 2840 地区国際交流事業 インターラクトクラブ海外研修 台湾の仲間と友情を確認

本校からも2人が参加

群馬・新潟両県のIAC（インターラクトクラブ）合同で、3月29日から4月1日にかけ海外研修として台湾の高校を訪問してきました。本校からも利根川蒼葉さん、大澤なほこさん（現3年生）の2人がこの研修に参加しました。また、4月20日から22日には台湾生徒受入事業として、台湾の高校生を群馬県に招き交流を行いました。

この研修は、国際ロータリー 2840 地区国際交流事業の一環として行われました。

台湾では新北市立三重高級中学校を訪問、地元の生徒と一緒に授業や部活動に参加、昼食もともにしました。その後、1泊2日のホームステイで台湾の文化・習慣・歴史を学びました。短い時間ではありましたが、台湾の人々の優しさに触れ、言葉の壁を越えた交流ができました。

これを受けた台湾生徒受入事業ではホスト校である新田暁高校の協力のもと、台湾の生徒を迎えて、日本でのホームステイを行いました。初めて日本を訪れた生徒も多く、文化の違いに驚いていました。特にスーパーマーケットなどさまざまな商品がきれいに陳列されている光景は台湾にはないもので新鮮だったということです。

この国際交流事業に参加した2人か



らは、「最初は言葉が通じるか、仲良くできるか、心配ばかりしていましたが、いざホームステイ先の生徒に会ってみると、言葉が通じなくても身振り手振りや少しの英語で何とかなりました。言葉が通じなくても気持ちは通じるのだということを実感できました」「短い時間でしたが友達と呼べる関係になれたと思います。これを機に国際的な感覚も養っていきたいと思います。ロータリークラブの方々にはたいへんお世話になりました。良い経験をさせていただきありがとうございました」との感想が寄せられています。

在校生と新入生が 対面式で理解深める

入学式から1週間ほど経過した4月20日、在校生と新入生の「対面式」が、前橋キャンパス第2校舎で行われました=写真。新1年生はこの週、オリエンテーション期間としてホームルームや二者面談を行い、学校の理解を深めており、その仕上げが対面式です。

在校生代表から歓迎の言葉、新入生代表のあいさつをそれぞれ交換、とも



に学校生活を過ごしていく仲間としての認識をお互いに深めました。

次の週からは授業も始まり、新入生も含めた前橋キャンパスが本格的に始動しました。



新入生歓迎で全校交流会 赤城山でカレーライス作り

前橋校恒例の新入生歓迎会を兼ねた全校交流会が6月7日、赤城青少年交流の家で行われ、在校生と新入生が力を合わせてカレーライス作りに挑戦しました。

前日に関東地方の梅雨入りが発表され、天候に不安が残る中の開催でしたが、当日は快晴、しかも30度を超える夏日となりました。赤城山とはいえ、強烈な日差しのもとでの野外行事となりました。

生徒たちは、1年から3年を縦割りに分けた12の班それぞれで「カレーライス」を作りました。この日に向けて班別ミーティングを行い、生徒それぞ

れが分担し役割をこなし、おいしいカレーを昼食に食べるため奮闘しました。火をおこし、鍋で炊飯し、具材を切り、カレーを煮込み…。各班に提供された具材は全く同じはずなのに、それぞれの班で出来上がったカレーはそれが違う味や出来具合でした。これも、大勢で作業するからこそ、多彩な仕上がりでしたが、屋外で食べる味はまた格別。全ての班が予定の時間までにカレーライスを完成させ、おいしい昼食となりました。

昼食後は、自分たちが使った鍋や道具などきちんと洗い、片付けました。今年のその行動が他団体の規範となる行動だと青少年交流の家から評価され、前橋キャンパス一同へ賞状もいただきました。今年の経験を次年度にも引き継いでいってほしいと思います。

自分たちで作ったカレーを
おいしく食べる

学校法人 有坂中央学園 高等学校卒業と専門知識・技能の取得

CHS 中央高等専修学校

桐生:〒376-0011 群馬県桐生市相生町5-59-28 TEL.0277-53-8511(代) FAX.0277-53-8532

クラーク記念国際高等学校

桐生キャンパス <http://chs-clark.jp>**CHUO**
中央カレッジグループ

歴史と文化を現地で学ぶ

合同で沖縄学習

沖縄の自然と文化を体験

琉球村で記念撮影

前橋校、桐生校の3年生が、5月15日から18日まで合同で沖縄学習を行ってきました。本校の修学旅行である沖縄学習は平和学習を基本に、沖縄各地を巡り、協調性、公共心、責任感などを養うことを目的として行われています。もちろんクラスメートとの思い出づくりも重要になります。

研修初日は、空路で沖縄へ。名護市のカヌチャリゾートに宿泊し、南国のリゾートホテルの雰囲気を満喫しました。

2日目は「国営沖縄記念公園」と「琉球村」見学、国際通りの自由散策が行われました。

国営沖縄記念公園では「美ら海水族館」を見学し、巨大水槽を泳ぐジンベイザメの大きさに圧倒されたり、どの生徒もおおいに楽しんでいる様子でした。琉球村では沖縄の文化や音楽に触

れ、なかにはその伝統的な踊りに参加した生徒もいました。

3日目はこの沖縄学習のメインである「平和学習の日」。「平和祈念資料館」、「平和の礎」を見学し、沖縄戦の教訓や平和を尊ぶ心を感じていました。「ひめゆりの塔資料館」では、講話として、実際に沖縄戦を経験した方の生の声を聴き、沖縄戦のみならず戦争そのものの悲惨さをあらためて感じさせられました。

4日目は最後の見学地、琉球文化の象徴である「首里城公園」を見学し、今回の全行程を無事終了し帰路につきました。

今回初めて前橋校・桐生校合同で行われた沖縄学習。今後は、今以上に両校生が交流する場面を増やしていくと思います。

ハイキングなど楽しく

新たな仲間づくりで 1年生が宿泊研修

桐生校に入学間もない1年生の交流を目的にした総合コースとベーシックコース合同宿泊研修が5月1日と2日、太田市の東毛青少年自然の家で行われました。

1日目は、開校式、ハイキング、キャンドルファイアを行いました。ハイキングは、宿泊施設（東毛青少年自然の家）から茶臼山までのコースを、往復3時間20分ほどかけて、ゆっくり登りました。天候も良く、頂上からの景色は、とても綺麗でした。夜には、体育館に集まりキャンドルファイアを行いました。食事、宿泊、掃除・集いなどの体験もできました。2日目は、手作りピザ作り、世界に1つだけのスプーン・フォーク作り、閉校式が行われました。



宿泊施設前



入学したばかりで、最初は生徒同士の会話も少ない状態でしたが、宿泊研修で協力し作業していくうちに、仲良く話し合えるようになりました。

学校長就任にあたって

CHS桐生校

学校長 内藤 年伸



昨年度は学校長代理として、前橋・桐生両校の仕事をさせていただきました。本年度は桐生校の学校長としてお世話になります。「常に向上心を持って」という自分のスタンスで今年も頑張ろうと考えています。

さて、中国の「三国志」に出てくる人物で、呉の国の孫権に使えていた呂蒙（りょうもう）という人は、とにかく学問をせず、戦をすることだけが取り柄の人でした。そして、人々から「呉下の阿蒙（あもう）」といって学問をしない人の代名詞として例えられました。ところ

自己改革の先駆 「呉国の呂蒙」に倣う

が、主君である孫権に「お前も兵法書や書物を読んで勉強しなさい」と叱責（しっせき）され、この日を境に学問を深めていきました。そして、有名な蜀国の関羽を荊州の戦いで計略を使って破りました。何度も戦っても勝ったことのなかった関羽を破ることは、大変なことでした。

古の時代が教えてくれたことは、「学ぶ・研鑽を深めることに時期・年齢はない」ということを物語っています。私も、常に自分の怠け心と格闘しながら精進していきたいと思います。

新入生歓迎会で 先輩とカレー作り

新入生歓迎会が5月11日、桐生市野外活動センターで行われ、3年生から1年生の縦割りの班に分かれてカレー作りをしました。

この歓迎会は、1年生の歓迎を目的に開催。同時に共同作業を通してコミュニケーション能力を養います。

当日は、各班3年生がリーダーとして1、2年生に作業を指示。担当ごとに薪割り、調理、炊飯、火起こしに挑戦しました=写真。

普段では行うことのない野外での調理や火起こしでしたが、生徒たちは苦



労しながらも楽しそうに協力して一生懸命取り組みました。

特に火起こしは、担当外でも上級生が率先して手伝っていました。1年生も初めは緊張したようでしたが、作業を通じ交流していくうちに自然と会話も増えていました。後片付けも予定していた時間よりも早く終わることができました。

新任紹介



細井 亮太先生
(1年担任、保健体育担当)

経験生かしたい

本年度より中央カレッジグループに入職しました。

小・中学校教諭の経験を生かしつつ、必要な能力・スキルを主体的に学び一日も早く仕事に慣れ、生徒の皆さんと楽しい学校生活を送りたいと考えています。よろしくお願いします。



本木 翔太先生
(2年担任、数学担当)

数学に興味を

2学年の担任と数学を担当させていただきます。本校の学校運営に感銘を受け、お世話になろうと決めました。これまでの経験を生かし、専門の数学に興味を持ってもらい、楽しい授業ができるかを考え臨みたいと思います。私自身も、生徒とともに日々成長していきたいです。

サマーデイキャンプ2018 プログラミングも新たに 最大15日間、多彩な内容で

昨年、好評だった小学生対象の「EVMサマーデイキャンプ」が今年も開かれます。今年のキャンプは7月23日から8月10日までの最大15日間。1日の定員は、充実指導のため15人とし、新たにプログラミングなど加えた楽しいアクティビティが並びます。クオリティの高い英語教育を盛り込んだサマーデイキャンプに参加し、有意義な夏休みを過ごしてみませんか。

新たな内容となったキャンプには、1日1日それぞれ異なるメインアクティビティを用意しました。中でも毎週木曜日に行う、中央総合学院のプログラミング教室とコラボレーションしたロボット製作が注目です。プログラミングの指導は専門の日本人講師が行い、完成したロボットの発表指導はEVMのインストラクターが担当、最後に子どもたちが英語で発表します。そのほか、嶺公園散策やTシャツづくり、サイエンス、スポーツなど楽し

いアクティビティが盛りだくさんとなっています。昼食もついています（アレルギーのある場合は、お弁当持参でお願いします）。

参加費は1日8,000円（食事付き）。1日参加から申し込みできますが、5日以上の場合は利用割引があります。詳細申し込みはEVM (English Village MAEBASHI 027-289-3125) またはEVMホームページやメール (welcome@english-village.jp) で。

Summer Day Camp Schedule & Main Activity				
Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
7/23 	7/24 	7/25 	7/26 ★ Special Activity 	7/27
Science 【科学実験】	Cooking:Italy 【イタリア料理】	Art & Craft 【Tシャツ作り】	Programming 【プログラミング】	Sports 【スポーツ】
7/30 	7/31 	8/1 	8/2 ★ Special Activity 	8/3
Cooking:Romania 【ルーマニア料理】	Nature 【嶺公園散策】	Sports 【スポーツ】	Programming 【プログラミング】	Craft 【特別工作】
8/6 	8/7 	8/8 	8/9 ★ Special Activity 	8/10
Sports 【スポーツ】	Craft 【特別工作】	Cooking:UK 【イギリス料理】	Programming 【プログラミング】	Craft 【特別工作】

Example of one day (1日の例)		
10:00 ~	Introduction	【イントロダクション】
11:00 ~	Lesson : Immigration	【入国審査】
11:30 ~	Homework	【宿題の時間】
12:00 ~	Lunch	【お昼】外国人インストラクターと一緒に食べます
13:00 ~	Main Activity : Science	【科学実験】
14:50 ~	Break	【休憩】
15:05 ~	Free Time	【自由時間】
15:45 ~	Review	【1日の振り返り】
16:00 ~	Close	【終わり】

1日ごとの内容イラスト④と時間配分⑤



好評だった昨年のキャンプ

体験 NEWS

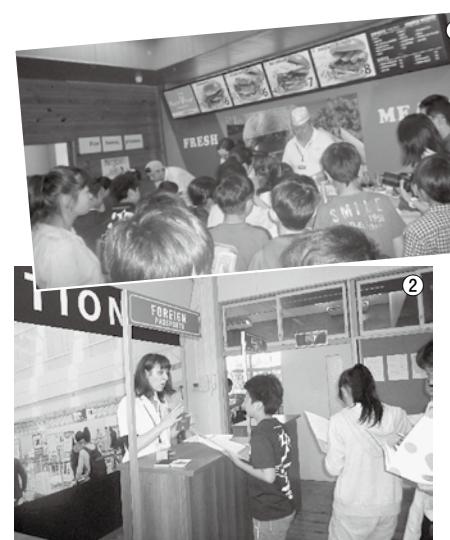
「山手学院」の一行が来村 楽しく英会話体験

埼玉県川越市の学習塾「山手学院」の小学生51人と引率教員6人の一行が6月10日、EVMで体験学習を行いました。

イントロダクションは、下田尾誠村長のあいさつ、インストラクターの紹介と続きました。

アクティビティは「Fast Food」からスタート。インストラクターが店員に扮したカウンターで、模擬紙幣の1ドル札3枚を使って実際の「Hamburger」「French Fries」「Juice」を英語で注文しました（写真①）。うれしいランチタイムになりました。

ランチの後は、「Immigration (入国審査)」、「Shopping」、「Homestay」、「Sports」の4つのグループに分かれてアクティビティを体験しました。「Immigration」では入国審査官に扮したインストラクターを前に当施設オリジナルのパスポートを渡し、名前や年齢、どこから来たかに加えて、旅の目的や宿泊場所を答えたりしました（写真②）。「Shopping」ではお菓子や雑貨、洋服などが陳列されたエリアで買いたいものや試着したいものをインストラクターに英語で伝える楽しさを



体験できました（写真③）。「Homestay」では、ホストファミリー宅での自己紹介体験が初めての生徒が大半でしたが、インストラクターの説明に耳を傾けながら、自分の趣味などを英語で伝えることができました（写真④）。

「Sports」は室内で「Kick Game」をしました。応援の掛け声が英語で飛び交い、大いに盛り上りました。

次回は、今回体験できなかったアクティビティや周辺の自然との触れ合いも体験していただきたいと思います。



STAFF紹介

Ukyo Kinoshita

(木下 右教)

英語に関わる仕事をしたい

私の名前は木下右教（きのした・うきょう）。群馬県前橋市出身です。Please call me "Ukyo". 英語に関わる仕事を就きたかったためEVMを志望しました。

前職はコールセンターの会社で人事・総務をやっていました。趣味は、楽器演奏・海外旅行・言語学習・映画鑑賞です。楽器はドラムをはじめとするパーカッション（打楽器）が専門です。セッションメンバー、バンドメンバー募集中。海外旅行おすすめの国ナンバーワンはヨルダンです。砂漠に泊まることをおすすめします。



大学時代に、ラテン音楽を始めたことがきっかけで、“ラテン系”が好きになり、趣味でスペイン語とイタリア語を勉強中。イタリア語はアレサンドロに教えてもらっています。よろしくお願いいたします。

『ビジネス』『ビューティサロン』『デンタルクリニック』

独自の英会話テキスト
業種別に3冊を刊行

EVM 講師の指導経験生かす

職業を意識したEVMオリジナルの英会話テキスト3冊が同時刊行されました。内容は『ビジネス英会話』『ビューティサロン英会話』『デンタルクリニック英会話』で、著者はいずれもEVMの専任外国人講師です。

執筆・担当は、『ビジネス英会話』がアーナ、『ビューティサロン英会話』をアリス、『デンタルクリニック英会話』はアレサンドロです。

特筆すべきは、それぞれのテキストが各講師の中央カレッジグループ専門学校でのレッスン体験を踏まえて書か

れているという点です。類似の英会話テキストは数多く市販されていますが、今回のテキストはすべて書き下ろし。学生が理解しやすいレベルの表現で書かれています。また使用される英文はup to dateであり、接客の場面を意識した丁寧な表現が用いられている



刊行された3冊のオリジナル英会話テキスト

のが特徴です。

テキストの各レッスンで扱われるトピックについては、単なる一般論に基づく状況設定ではなく、各専門学校の副校長をはじめとする先生たちの意見が反映された内容となっています。すなわち、職場での現実的なニーズを優先的に盛り込んだ構成である点も新機軸といえましょう。

これからは、3冊のテキストが、学習するのにあたり、どれだけ使いやすいかという点や、専門職業分野でのそれぞの有効性を実際のクラスで検証していきたいと考えています。そして、さらなるアップグレードを目指していきたいと思っています。そのためにも利用者の忌憚（きたん）ない意見をお待ちしています。

Father's Day EVENT

スポーツを親子で
英会話も同時に

EVMは、6月17日の「父の日」に「Father's Day EVENT (ファザーズ・デイ・イベント)」を実施しました。

今回のイベントテーマはスポーツ。子ども10人、大人13人の総勢23人10組の親子が参加しました。

参加者は、まずは英語のラジオ体操で体をほぐし、2チームに分かれ障害物競争 (Relay Race in English) に。縄跳びや二人三脚をしながらインストラクターからの英語の質問に答えるというEVMならではのレースになりました。

次にボウリング (Bowling)。この



親子で楽しんだ「父の日」のスポーツ大会



ゲーム（個人戦）は、各親子で倒したピンの数で順位を競いました。ボーナスピンの設定もあり、子どもから大人まで大いに盛り上がりました。

競技結果の集計中に、子どもたちはお父さんに英語のメッセージカードを

作成しました。結果発表では、参加賞として子どもたち全員にお菓子がプレゼントされ、1位、2位、3位にはそれぞれメダルとWEEKENDコースの

40分無料レッスンチケット2枚がプレゼントされました。次回のイベントは、夏のサマーデイキャンプになります。

WEEKEND コース

自分の都合で英会話学習

EVMでは、週末を利用して学ぶ「WEEKENDコース」も設けています。自分の都合に合わせ、本校の多彩なシチュエーションを体験できると好評です。

【利用者の声】

●Mさん (30代・女性)

シチュエーション: Hotel

ホテルを再現した部屋で実際に使えるフレーズを学びました。チェックイン・アウト、またこんなことがあるシチュエーションなど、緊張感を持って



行え、より実践的でよかったです。

●Aさん (40代・男性)

シチュエーション: Cooking

Traditional foodを作りながら、cookingの時に使える簡単な単語やフレーズを学べて、楽しかった。料理も、おいしくいただきました。

Mayor's Message

Diversity in Shared Cultures

Makoto Shimotao

other nations as being "different" from their own cultures. Many people under the influence of such critics, for example, tend to describe Japan as a mysterious country whose culture is not easily understood by foreigners.

I expect globalization to set us free from such a fixed idea. A good example is anime. As you know, this mass-culture has produced vast numbers of fanciers all over the world. The same goes for manga and emoji. The fact that these mass-cultures are internationally accepted indicates that we are blessed with ample opportunities in this day to share and discuss many common subjects including those I mentioned above with different nationalities on SNS.

Having said that, we occasionally need to stop and ask: Is every culture the same? Take anime,

for example. When watching one, we all share the same genre the mass-culture represents. But what about characterization? Are the villains in every anime described as completely evil persons? Are there any cases where such villains possess certain virtues? The answers to these questions are inevitably varied, by which we find that any anime reflects certain ways of thinking indigenous to the culture it represents.

Thus we face quite a few cultural differences in the process of sharing common topics. I think this is one of the most natural ways, especially for the younger generation, to get to know each other and the most down-to-earth approach to promoting international understanding in the age of globalization when information is exchanged rapidly across borders.

英語村の下田尾誠村長コラムの2回目。グローバル化時代の文化受容について、村長はどう考えているのでしょうか。

週末を利用して、英会話学ぶ

英会話教育で 新たな取り組み

EE プログラム オンライン英会話

本学院では、幼児・児童に、英会話をより身近で、より理解を深めてもらおうと今年から「オンライン英会話」と「EEプログラム」の2つの新たな取り組みを開始しました。

園児や小学生向けに
スカイプを活用して

オンライン英会話

送迎ができないなど、さまざまな事情で幼稚園の課外授業が受けられない在園児、小学生向けに本学院で4月から、「オンライン英会話」がスタートしました。

これは、自宅PCでスカイプを使い、都合の良い時間帯に受講するもので、保護者も安心です。指導は、なじみの外国人講師が担当するので、オンラインでもリラックスして学習できます。



自宅と外国人講師が結ばれるオンライン英会話

時間は1人につき約30分。単元ごとに3~4枚のチェックシートを送って習熟度を確認しています。

現在、小学生1人と園児2人がこのシステムを活用し、英会話を学んでいます。



オリジナルプログラムで英会話を反復練習

毎日15分、反復練習 会話力を身につける

EE プログラム

本学院では県内35カ所の幼稚園で英語プログラムを実施しています。その実績をもとに、2月から「EE (Everyday English) プログラム」の提供も始めました。

本プログラムは、正課授業で外国人教師から学んだことを反復練習し、理解度をより深めてもらうために実施しているものです。

正課授業を行うペースは、1週間に1~2回ですが、本学院の外国人講師が考案したこの新プログラムは、園の

先生がフラッシュカードやCD-ROMを使って1日15分間行います。

プログラムはVocabulary、Songs、Activity/Roleplay/Video、Vocabulary expression-useful phrases、English lessonの5つ。これによって、授業で学んだことを日々確認できるようになりました。

実施している幼稚園からは「自然と英語が楽しめる環境になっています。子どもたちも『英語が楽しい』と笑顔で参加しています」とコメントをいただいているいます。

資格の学校 **TAC** 群馬校

お申し込みお問い合わせは資格の学校TAC
 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-14-1 TEL 027-226-1823 FAX 027-243-5300

資格選びは「未来を拓く力」 多彩な取得講座で対応

「あなたが資格に興味を持ったキッカケは何ですか」。就職・転職で、周りに差をつけたい。昇給してプライベートも充実させたい。など、それぞれの目的に合う資格を探すのはもちろん大切です。しかし、資格取得を目指すのならあなたの人生を広く輝かせる資格に出会ってほしいと、TACは考えます。そんな方々に、人気資格ランキングをご紹介します。

人気資格総合ランキング

- 1位：簿記検定
- 2位：社会保険労務士
- 3位：税理士
- 4位：宅建士
- 5位：中小企業診断士
- 6位：FP
- 7位：情報処理
- 8位：公認会計士

9位：医療事務

10位：証券アナリスト

※TAC資料請求数調査より（公務員は除く）



ビジネスパーソンの必須知識といわれる「簿記検定」が不動の人気。また、東京オリンピックを控え活発な不動産取引の影響を受けて「宅建士」が人気上昇し、業種・職種を問わずその知識

が活用できる「FP」「診断士」も注目度が高まっています。

2019年度合格を目指し 大学で公務員対策講座

本校では、平成31年度の公務員試験対策を順次開講しています。

希望する各大学向けにカスタマイズした大学独自のオリジナル公務員講座を開講するほか、講師を派遣し実施する学内講座も、5月開講の高崎経済大学を皮切りに、群馬大学・県立女子大学などでも順次開講中です。

【高崎経済大学】174人が受講しており、県内外、国家公務員や地方公務員を目指して学習中です。

【群馬大学】4・5月と公務員ガイダンスを荒牧キャンパス・桐生キャンパスで実施、約200人の学生が講師の公務員情報に真剣に耳を傾けていました。

【県立女子大学】公務員採用試験の最重要科目である「数的処理講座」の対策講座に約35人の学生が合格に向け日々学習に取り組んでいます。

資格・検定紹介

一「医療事務」編一

●医療事務（医科・歯科）

結婚や出産、育児や介護などでライフスタイルが大きく変化することの多い女性にとって、一生モノのスキルを手に入れることは大きな自信に繋がります。まずは、一歩、踏み出してください。

☆魅力いっぱいの医療事務

- ・ライフスタイルに合わせて働き方を選びます。
- ・年齢や学歴、キャリアは問いません。
- ・勤務地多数。引越しや家族の転勤も安心
- ・再就職にも有利。生涯にわたって役に立つスキル

☆医療事務の仕事

- ・受付業務
- ・会計業務
- ・診療報酬請求業務

☆活躍するフィールド

- 「医療機関以外での仕事も！」
- ・医療事務代行会社
- ・審査支払機関
- ・市区町村役場
- ・IT企業

お得な講座キャンペーン情報

中小企業診断士 先どりキャンペーン
 対象：1・2次ストレート本科生ほか
 期間：7月31日まで
 ・通常受講料から20,000円割引

TAC群馬校取り扱い講座

【会計・経営・労務関係】

税理士・簿記検定・社会保険労務士
 建設業経理士・中小企業診断士
 FP・証券アナリスト

【法律・公務員関係】

行政書士・ビジネス実務法務検定
 公務員（地方上級・国家一般職）
 理系公務員（技術職）
 警察官・消防官

【不動産関係】

不動産鑑定士・宅地建物取引士
 マンション管理士・管理業務主任者

【情報処理・パソコン関係】

ITパスポート・基本情報技術者